

令和5年度数値予報解説資料集 正誤表

最終更新日：2024年6月17日

訂正日	該当箇所	誤	正
2024年6月17日	1.4.1項 p.46 ノート	東西方向の格子間隔は約14km、北緯30度ではやや狭ま <u>っ</u> <u>て</u> 実際の格子間隔は約13kmとなる。	東西方向の格子間隔は約14km、北緯30度ではやや狭ま <u>り</u> 、 <u>後述する適合ガウス格子を採用し、</u> 実際の格子間隔は約13kmとなる。
2024年6月17日	1.7.18項 p.220 ノート	本システムでは、大気大循環モデルMRI-AGCM3(Yukimoto et al. 2012)と(全球)化学輸送モデルを結合させたモデルMRI-CCM2(水平格子間隔約110km鉛直層数64層)を用いており、即時的に利用可能な衛星データ(OMPS/ <u>SuomiNPP@NOAA</u> のオゾン全量(鉛直積算量))でナッジングすることで観測情報を取り込んでいる。また、気象場はGSM解析・予測値をナッジングすることで、現実の大気場から離れないようにしている。仕様の詳細は <u>JMA(2019)</u> を参照されたい。	本システムでは、大気大循環モデルMRI-AGCM3(Yukimoto et al. 2012)と(全球)化学輸送モデルを結合させたモデルMRI-CCM2(水平格子間隔約110km鉛直層数64層)を用いており、即時的に利用可能な衛星データ(OMPS/ <u>NOAA-20</u> のオゾン全量(鉛直積算量))でナッジングすることで観測情報を取り込んでいる。また、気象場はGSM解析・予測値をナッジングすることで、現実の大気場から離れないようにしている。仕様の詳細は <u>JMA(2024)</u> を参照されたい。
2024年6月17日	1.7.18項 p.223 スライド	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>JMA, 2019: Outline of the Operational Numerical Weather Prediction at the Japan Meteorological Agency. Appendix to WMO Technical Progress Report on the Global Data-processing and Forecasting Systems (GDPFS) and Numerical Weather Prediction (NWP) Research. Japan, 229pp pp., (Available online at <a href="https://www.jma.go.jp/jma/jma-eng/jma-center/nwp/outline2019-nwp/index.htm">https://www.jma.go.jp/jma/jma-eng/jma-center/nwp/outline2019-nwp/index.htm</a>).</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>JMA, 2024: Outline of the Operational Numerical Weather Prediction at the Japan Meteorological Agency. Japan, 262pp., (Available online at <a href="https://www.jma.go.jp/jma/jma-eng/jma-center/nwp/outline2024-nwp/index.htm">https://www.jma.go.jp/jma/jma-eng/jma-center/nwp/outline2024-nwp/index.htm</a>).</u></li> </ul>